

# 算数科 小学校 3年

単元名 「表とグラフ」  
啓林館「わくわく算数3下」

## 単元の流れ（全7時間）

【第1時】  
**主な学習内容**  
生活場面(スポーツ大会)から、表とグラフを使って整理するという課題をつかむ。

「活用」の力育成のために  
児童の身近で興味を引く教材を作る。  
(ポイント①②)

【第2時】  
**主な学習内容**  
棒グラフの意味を理解し、読む。(本時)

「活用」の力育成のために【第2・3・4・5時】  
児童に一目で分かるグラフを工夫させる。  
(ポイント③④⑤)

【第3時】  
**主な学習内容**  
1目盛りが1でないグラフや横型の棒グラフを読む。

【第4時】  
**主な学習内容**  
1目盛りが1の棒グラフをかく。

【第5時】  
**主な学習内容**  
1目盛りが1でない棒グラフをかく。

【第6時】  
**主な学習内容**  
簡単な2次元の表の見方を理解する。

「活用」の力育成のために【第6時】  
児童に簡単な2次元の表を使って整理させる。  
(ポイント①②④⑤)

【第7時】  
**主な学習内容**  
評価テストをする。

### 単元目標

○身の回りにある事象について、資料を分類・整理し、表にまとめる。また、棒グラフについて知る。

### 単元構成の意図

2学年では分類整理したことを絵や図などを用いた簡単な表にする学習をしてきた。その学習を基にして、本単元では日常生活場面の中から目的に応じて観点を決め、資料を収集し、分類整理し、表やグラフを用いて表したり、読み取ったりする方法を児童に考えさせ、身に付けさせる。また、児童が興味をもつ題材を選び、児童が気づき考えたことを言葉で表現することを通して、表や棒グラフの特徴やよさを感じさせる。本単元は、4学年での折れ線グラフや2次元の表をかく学習へとつながる。

### 「活用」の力を育てるポイント

- ①身近な生活の中の興味ある題材を取り上げ、目的意識を明確にもたせるとともに、項目を限定するなど、考えを深めやすい場面設定をする。
- ②資料に落ちや重なりがないことを確かめるための工夫を考えさせる。
- ③表やグラフを比較して、各々のよさに気づき、よさを生かした表し方を考えさせる。
- ④観点を決めて情報収集したり、表したりする過程で、表やグラフの特徴や傾向を読み取らせ、既習事項や既習内容を適切に活用できる力を付けさせる。
- ⑤説明する力を育てるために、自分の考えや解決方法などについて、ペア学習やグループ協議を設定する。

HOME

本時の流れへ

評価問題